

第3回ひぬま環境フォーラム
「望ましい涸沼の環境を考える」シンポジウム

日 時：平成15年11月26日（水）13：15～16：00

場 所：いこいの村涸沼大ホール

（茨城県鹿島郡旭村箕輪3604 TEL：0291-37-1171）

目 的：

涸沼では様々な浄化活動がなされてきましたが、目標どおりの水質になっていません。これまでの浄化対策だけでなく、湖岸植生（アシ・ヨシ）で浄化しようという意見もあります。その一方で、涸沼の環境保全に対して、シジミや魚が獲れるようになればいいのではないかと、もっと観光客が来るようにしたいといった声も聞かれます。つまり、涸沼の環境の目標について、水質浄化が中心なのか、それとももっと他の要素も加えるべきなのかなど、色々な立場や考え方があります。そこで、今回のシンポジウムでは「望ましい涸沼の環境を考える」というテーマを設定し、多くの方々の意見を出しあって、涸沼にとって最も望ましい環境とは一体どのようなものなのかを探り、クリーンアップひぬまネットワークの今後の活動方向を決める上で役に立つシンポジウムとしたいと考えています。

コーディネーター

三村信男氏（茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター教授）

話題提供 「水産工学研究所の涸沼研究について」

桑原久実氏（独立行政法人水産総合研究センター

水産工学研究所水産土木工学部環境分析研究室長）

パネラー

谷萩八重子氏（ネットワーク理事、茨城県消費者団体連絡協議会事務局長）

関根章司氏（ネットワーク運営委員、えびさわや主人）

中野博則氏（ネットワーク運営委員、株式会社ニコン水戸製作所主幹）

高貫和夫氏（茨城町立広浦小学校教諭）

なお、水・自然環境との共生部会 涸沼 WG では、茨城大学のメンバーと茨城県、水産工学研究所などのメンバーが協力して涸沼の総合的な環境調査を行っています。